

環境マネジメントシステム 活動報告書

令和元年度



亀岡市役所

亀岡市役所温暖化対策基本方針

基本理念

21世紀の地球環境には、地球温暖化や生態系の危機など多くの課題が顕在化しています。

これら地球環境問題の解決に向けて、市民、事業者、行政などすべての関係者の参加と協働のもと、地球規模で考え、地域で行動する取り組みを通じて、環境にやさしく持続可能なまちづくりを進めていくことが必要です。

亀岡市役所では、事務・事業における環境への影響に配慮し、自然と共生した持続可能な社会の実現のため、環境にやさしい取り組みを定め、地球温暖化対策を推進します。

行動指針

亀岡市は、基本理念の実現に向けて次の取り組みを推進します。

1. 市の事務・事業における温室効果ガスの総排出量を削減します。
2. 施設等におけるエネルギー（電気、燃料、熱等）の使用量を削減するとともに、電力がピークとなる季節や時間帯の電力抑制に努めます。
3. 施設の新設及び更新の際は、省エネルギー及び新エネルギー設備の導入に努め、エネルギー使用量の低減を図ります。
4. エコドライブの取り組み等を通じて、公用車及び通勤車における燃料使用量を削減します。
5. 市の事務・事業におけるごみの排出量を削減します。
6. 温暖化対策基本方針及び本システムの運用成果は、随時公表します。

平成28年 4月 1日

亀岡市長 桂川孝裕

温室効果ガス排出量（CO2換算）

※平成26年度を基準に令和2年度までに温室効果ガスの総排出量を9.0%削減する目標を設定

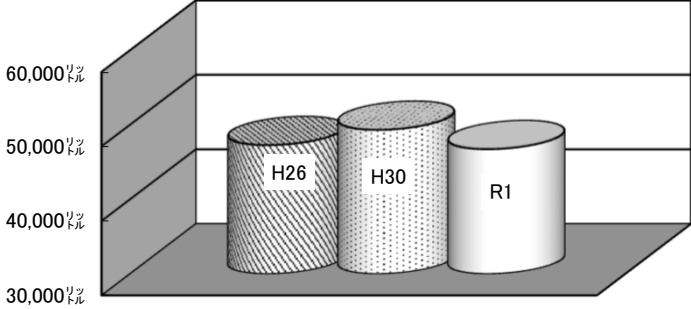
区分		単位	年度	数量	H30/H26 R1/H26	CO2排出量 (kg)	H30/H26 R1/H26	構成比
燃料使用量	ガソリン	ℓ	H26	47,264		109,653		0.5%
			H30	49,321	4.4%	114,424	4.4%	0.6%
			R1	46,724	△1.1%	108,400	△1.1%	0.6%
	灯油	ℓ	H26	219,624		546,864		2.3%
			H30	311,390	41.8%	775,361	41.8%	3.8%
			R1	298,361	35.9%	742,919	35.9%	4.1%
	軽油	ℓ	H26	100,180		258,464		1.1%
			H30	102,200	2.0%	263,676	2.0%	1.3%
			R1	103,248	3.1%	266,379	3.1%	1.5%
	A重油	ℓ	H26	10,668		28,910		0.1%
			H30	17,868	67.5%	48,422	67.5%	0.2%
			R1	16,452	54.2%	44,585	54.2%	0.2%
LPG	m ³	H26	8,104		48,381		0.2%	
		H30	8,486	4.7%	50,662	4.7%	0.2%	
		R1	8,902	9.8%	53,144	9.8%	0.3%	
電力使用量		kwh	H26	23,062,811		12,246,354		51.1%
			H30	23,634,692	2.5%	10,281,091	△16.0%	49.8%
			R1	21,742,522	△5.7%	7,734,404	△36.8%	43.0%
公用車走行量		km	H26	983,550		7,037		0.03%
			H30	1,039,233	5.7%	7,395	5.1%	0.04%
			R1	1,005,407	2.2%	7,123	1.2%	0.04%
一般廃棄物	焼却量 (廃プラスチックを除く。)	t	H26	20,708		350,393		1.5%
			H30	19,282	△6.9%	326,253	△6.9%	1.6%
			R1	21,367	3.2%	361,542	3.2%	2.0%
	一般廃棄物に含まれる 廃プラスチック焼却量	t	H26	3,420		9,456,300		39.5%
			H30	2,852	△16.6%	7,885,780	△16.6%	38.2%
			R1	2,826	△17.4%	7,813,890	△17.4%	43.5%
廃棄物の埋立処分量		t	H26	1,800		213,125		0.9%
			H30	1,617	△15.6%	176,100	△17.4%	0.9%
			R1	1,743	△3.1%	171,075	△19.7%	1.0%
下水処理量 (終末処理場)		m ³	H26	9,654,333		672,714		2.8%
			H30	9,931,576	2.9%	692,032	2.9%	3.4%
			R1	9,631,291	△0.2%	671,108	△0.2%	3.7%
し尿処理量 (し尿処理施設)		m ³	H26	12,775		15,677		0.1%
			H30	10,302	△19.4%	12,642	△19.4%	0.1%
			R1	0	皆減	0	皆減	0.0%
浄化槽		人	H26	232		5,012		0.0%
			H30	212	△8.6%	4,580	△8.6%	0.0%
			R1	212	△8.6%	4,580	△8.6%	0.0%
合計			H26			23,958,884		100.0%
			H30			20,638,417	△13.9%	100.0%
			R1			17,979,149	△25.0%	100.0%

令和元年度 環境マネジメント調査結果

○ガソリン使用量

数量

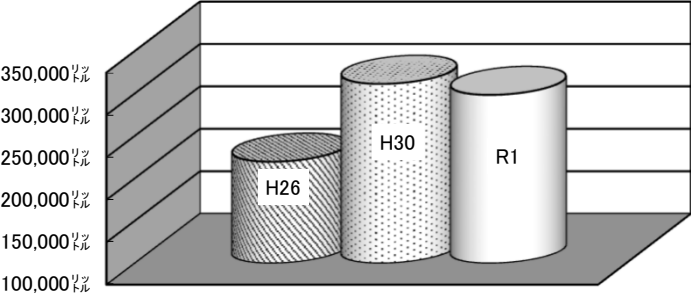
平成26年度	47,264 ^{リットル}	
平成30年度	49,321 ^{リットル}	(4.4%) 平成26年度対比
令和元年度	46,724 ^{リットル}	(△1.1%) 平成26年度対比



○灯油使用量

数量

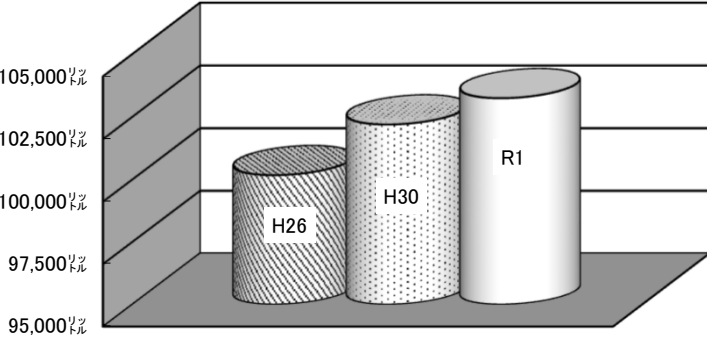
平成26年度	219,624 ^{リットル}	
平成30年度	311,390 ^{リットル}	(41.8%) 平成26年度対比
令和元年度	298,361 ^{リットル}	(35.9%) 平成26年度対比



○軽油使用量

数量

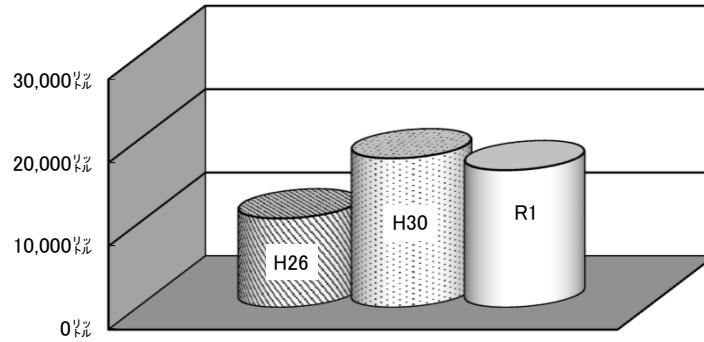
平成26年度	100,180 ^{リットル}	
平成30年度	102,200 ^{リットル}	(2.0%) 平成26年度対比
令和元年度	103,248 ^{リットル}	(3.1%) 平成26年度対比



○OA重油使用量

数量

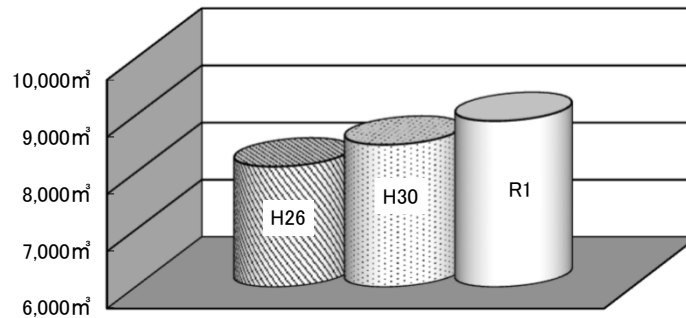
平成26年度	10,668 ^{リットル}	
平成30年度	17,868 ^{リットル}	(67.5%) 平成26年度対比
令和元年度	16,452 ^{リットル}	(54.2%) 平成26年度対比



○LPG使用量

数量

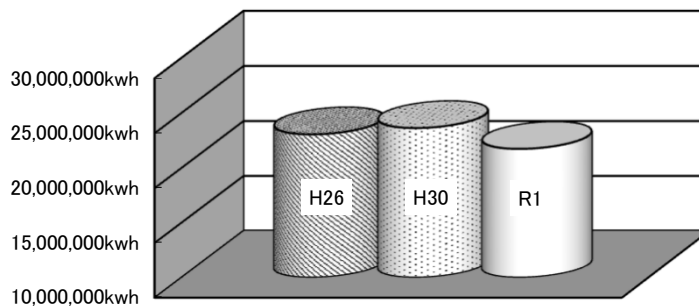
平成26年度	8,104 ^{m³}	
平成30年度	8,486 ^{m³}	(4.7%) 平成26年度対比
令和元年度	8,902 ^{m³}	(9.8%) 平成26年度対比



○電力使用量

数量

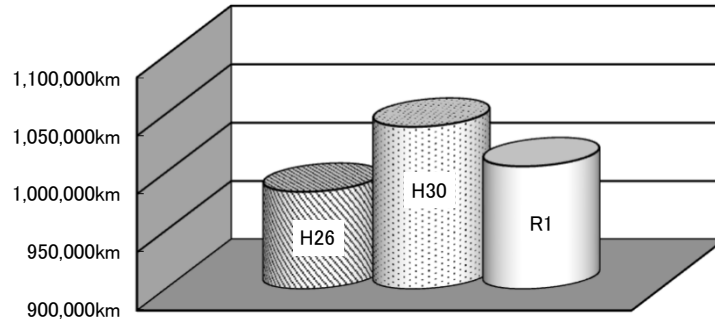
平成26年度	23,062,811kwh	
平成30年度	23,634,692kwh	(2.5%) 平成26年度対比
令和元年度	21,742,522kwh	(△5.7%) 平成26年度対比



○公用車走行量

数量

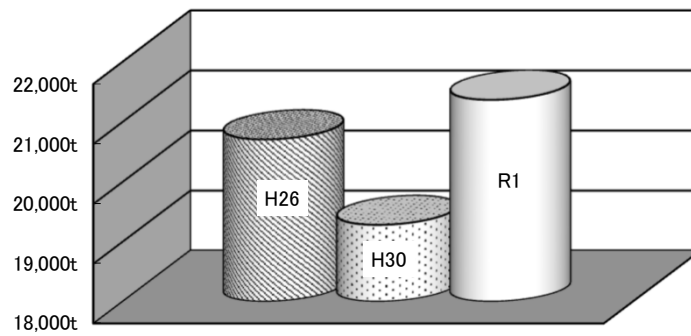
平成26年度	983,550km	
平成30年度	1,039,233km	(5.7%) 平成26年度対比
令和元年度	1,005,407km	(2.2%) 平成26年度対比



○一般廃棄物焼却量(廃プラスチックを除く。)

数量

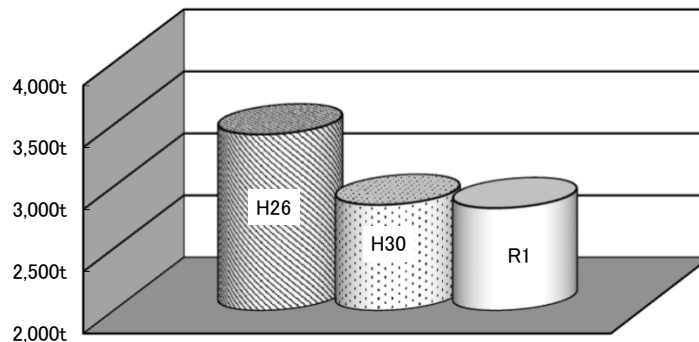
平成26年度	20,708t	
平成30年度	19,282t	(△6.9%) 平成26年度対比
令和元年度	21,367t	(3.2%) 平成26年度対比



○一般廃棄物に含まれる廃プラスチック焼却量

数量

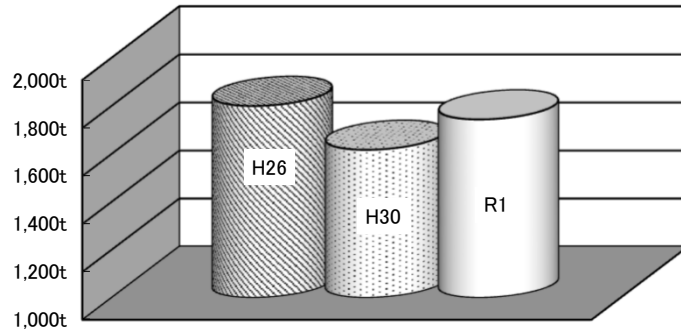
平成26年度	3,420t	
平成30年度	2,852t	(△16.6%) 平成26年度対比
令和元年度	2,826t	(△17.4%) 平成26年度対比



○廃棄物の埋立処分量

数量

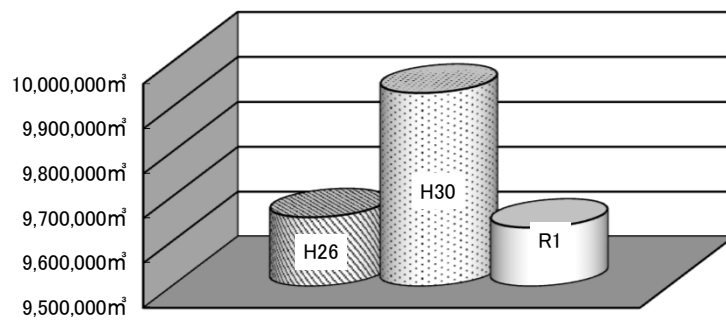
平成26年度	1,800t	
平成30年度	1,617t	(△10.2%) 平成26年度対比
令和元年度	1,743t	(△3.1%) 平成26年度対比



○下水処理量

数量

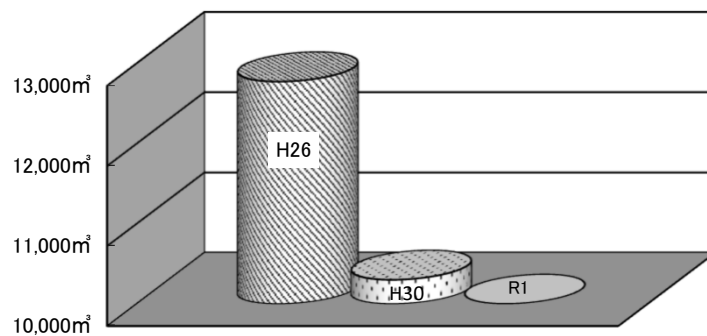
平成26年度	9,654,333m ³	
平成30年度	9,931,576m ³	(2.9%) 平成26年度対比
令和元年度	9,631,291m ³	(△0.2%) 平成26年度対比



○L尿処理量

数量

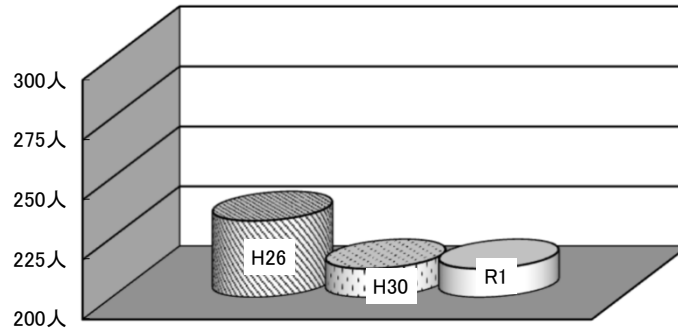
平成26年度	12,775m ³	
平成30年度	10,302m ³	(△19.4%) 平成26年度対比
令和元年度	0m ³	(皆減) 平成26年度対比



○浄化槽

数量

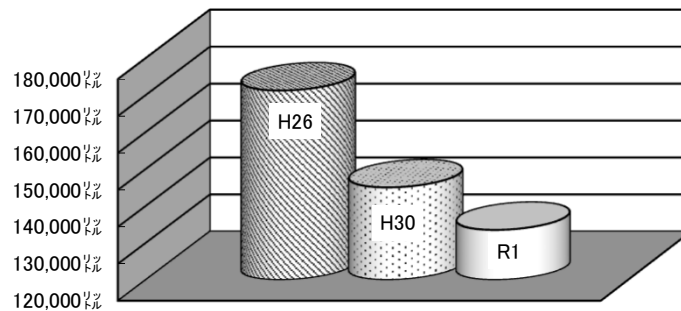
平成26年度	232人	
平成30年度	212人	(△8.6%) 平成26年度対比
令和元年度	212人	(△8.6%) 平成26年度対比



○職員通勤車の燃料使用量

数量

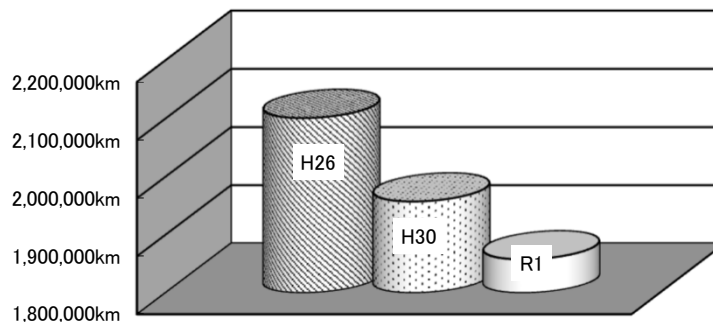
平成26年度	171,253リットル	
平成30年度	145,031リットル	(△15.3%) 平成26年度対比
令和元年度	133,520リットル	(△22.0%) 平成26年度対比



○通勤車走行量

数量

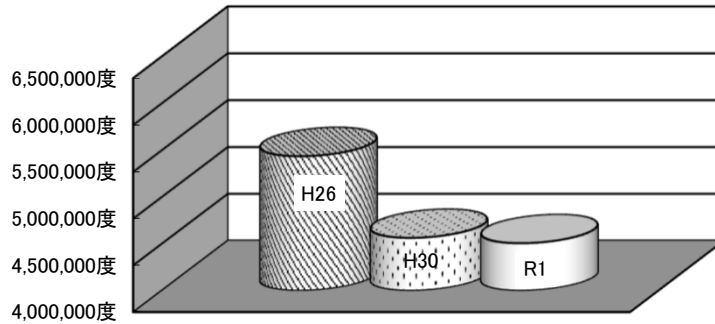
平成26年度	2,101,082km	
平成30年度	1,957,495km	(△6.8%) 平成26年度対比
令和元年度	1,857,765km	(△11.6%) 平成26年度対比



○コピー使用度数

数量

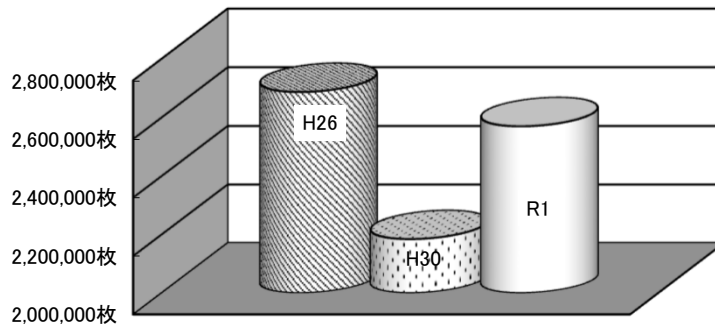
平成26年度	5,437,366度	
平成30年度	4,563,889度	(△16.1%) 平成26年度対比
令和元年度	4,506,580度	(△17.1%) 平成26年度対比



○コピー用紙購入量

数量

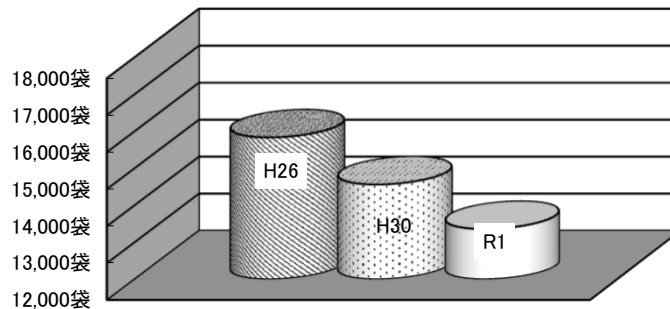
平成26年度	2,686,975枚	
平成30年度	2,184,214枚	(△18.7%) 平成26年度対比
令和元年度	2,569,825枚	(△4.4%) 平成26年度対比



○ごみ袋発生量

数量

平成26年度	15,832袋	
平成30年度	14,559袋	(△8.0%) 平成26年度対比
令和元年度	13,356袋	(△15.6%) 平成26年度対比



施設のエネルギー使用量について

部・室名	平成30年度	令和元年度	増減理由
生涯学習部	753kℓ	745kℓ	ほぼ前年度並みとなっています
総務部	634kℓ	487kℓ	平成30年度は例年以上に猛暑日が続きましたが、令和元年度は例年通りの気候であったため、空調機器を作動させる時間が減少したこと、LED化事業を進めたことにより、エネルギー使用量が大きく減少しています
環境市民部	1,355kℓ	1,047kℓ	若宮工場の使用停止により、エネルギー使用量が大きく減少しています
健康福祉部	188kℓ	193kℓ	ほぼ前年度並みとなっています
産業観光部	251kℓ	242kℓ	ほぼ前年度並みとなっています
まちづくり推進部	262kℓ	274kℓ	ほぼ前年度並みとなっています
土木建築部	0kℓ	0kℓ	—
上下水道部	3,058kℓ	2,993kℓ	南つつじヶ丘第1加圧ポンプ場のポンプを更新したことにより電力量が減少しています。また、三宅浄水場系の水量の一部を千代川浄水場系に振り分けたことによる電力量の減少によりエネルギーも減少しています。
合計	6,501kℓ	5,981kℓ	-520kℓ

- ※ エネルギー使用量を原油換算（kℓ）にして表記しています。
- ※ 施設を有する部等のみ対象としています。
- ※ 指定管理施設も調査対象としています。
- ※ 教育部・市立病院は省エネ法で別サイトとなりますので表示していません。